

平成25年度予算見積調書

課室名：医療整備課
 担当名：医師確保対策担当
 内線：3546 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業
B1	埼玉県総合医局機構準備・運営事業			一般会計	衛生費	医薬費	医薬総務費	医師確保対策費
事業期間	平成25年度～	根拠法令	なし			戦略項目	03 医療の安心	
						分野施策	010303 医師・看護師確保対策の推進	
1 事業の概要 埼玉県は人口10万人当たりの医師数が、142.6人で全国47位である。特定診療科や地域において医師の偏在が生じており、県内に医師を誘導定着させるための取組が必要である。 そこで、医師バンク機能を有する埼玉県総合医局機構として、研修医、指導医等を誘導・定着させるための様々な取組を行う。 (1) 埼玉県総合医局機構準備・運営経費 20,310千円 (2) 後期研修医誘導定着支援事業 5,800千円 (3) 高校生の志養成事業 2,440千円 (4) 女性医師就業支援事業 11,642千円				5 事業説明 (1) 事業内容 国は、医師の地域偏在の解消に取り組むコントロールタワーとして、各都道府県に地域医療支援センターを設置することを推進している。県では、この総合医局が同センターの機能を担う。 県では、これまで県内全体の医師確保と県内への誘導を図るため、臨床研修医及び後期研修医への資金貸与（平成21年度から78人）、地域枠医学生及び県外医学生への奨学金貸与（平成22年度から貸与者40人（予定を含む。）、自治医科大学運営費の負担（平成24年度派遣卒業医師数12人）などを行っている。 総合医局では、これらの取組で確保した医師を医師の不足する病院に派遣することなどによって、医師の診療科偏在や地域偏在の解消、県内全域の医療水準の向上を図る。 事業を段階的に開始し、平成28年度の全面稼働を目指す。 ア 埼玉県総合医局機構準備・運営 20,310千円 (ア) 良質な医師バンク 個々の医師を医療機関へ誘導する。 (イ) ベテラン指導医の派遣 個々の医師のキャリアアップ支援を図る。（埼玉県独自の取組） (ウ) 地域医療教育センター（仮称）平成28年度開設に向けた調査・検討に着手する。（埼玉県独自の取組） イ 後期研修医の確保 5,800千円 後期研修医向け民間主催合同説明会（レジナビフェア）への出展：後期研修医の県内への誘導・定着を図る。 ウ 高校生の志の養成 2,440千円 病院見学、医療体験、医学生間の交流会の実施：未来への投資・日本一医師になりやすい環境づくりを行う。 エ 女性医師の復職支援 11,642千円 女性医師支援センターの運営（既存）と女性医師の復職研修等の実施：相談から復職まで一体的な女性医師支援を行う。 (2) 事業計画 ア 平成25年度 事業の開始、運営には県立大学も参画 イ 平成26年度～ 事業の拡充、地域医療教育センター（仮称）の設置準備 ウ 平成28年度 新都心医療拠点へ事務所移転、地域医療教育センター（仮称）開設、総合医局機構の全面稼働 (3) 事業効果 医師を安定的に確保することが可能となり、医師の診療科偏在や地域偏在を解消し、身近な地域において適切な医療を受けられる体制を作ることができる。				
2 事業主体及び負担区分 (1)、(3)、(4) (国1/2・県1/2) (2) (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×要求3人（保留）=28,500千円								
				財 源 内 訳				
予算額		国庫支出金	繰入金	諸収入			一般財源	前年との対比
決定額	40,192	17,194	5,300	1,229			16,469	34,232
前年額	5,960	2,980					2,980	